

2019年7月23日
三井化学株式会社
三井化学SKCポリウレタン株式会社

バイオマスプラスチック原料「エコニコール®」が ZMP 社の自律型新モビリティ Robocar® Walk に採用 ～気候変動問題の解決に貢献するバイオマスプラスチックの採用拡大へ～

三井化学株式会社（東京都港区、社長：淡輪 敏）と三井化学 SKC ポリウレタン株式会社（韓国ソウル、Co-CEO：Eui Joon Lim、柴田 真吾）は、環境負荷低減に貢献する植物由来のバイオマスプラスチック原料であるバイオポリオール「エコニコール®」が、株式会社 ZMP（東京都文京区、代表取締役社長：谷口 恒）が販売する自動運転車両 RoboCar® シリーズの新モデル Robocar® Walk に採用されましたので、お知らせ致します。Robocar® Walk は、2019年7月23日～26日の期間で開催中の ZMP World 2019 にて発表された、これからの移動のパートナーとなる新コンセプトの自動運転モビリティです。



エコニコール® は、食料問題と競合しない非可食の植物である「ひま」から製造する気候変動問題の解決に貢献するバイオマスプラスチック原料であり、バイオマスプラ認証*¹)のもとになるポジティブリストに登録済みのポリウレタン原料です。既に自動車のシートや家具のクッション素材としてエコニコール®を使用したポリウレタンフォームの採用は広がっています。今回、三井化学 SKC ポリウレタンはエコニコール® を Robocar® Walk のシートクッション用の原料として ZMP 社に提供し、一般のポリウレタンフォームと比較して 27%の CO₂ 削減を実現しています。

ZMP 社の谷口社長は、「ZMP は、人に共感されるデザインを目指してロボットの設計を行ってきました。素材についても人に優しく、環境にも負荷が少ない素材の採用が必要であると考えており、エコニコール®を採用することで、人だけでなく、環境にも優しいロボットを製作でき、顧客へより一層の価値提供が可能になると考えています。」とコメントしています。

三井化学グループは今後とも、エコニコール®をはじめとした気候変動問題へ貢献する素材や技術を提供し、用途展開を推進することで、循環経済の実現に貢献してまいります。

以上

*1) バイオマスプラ認証

日本バイオマスプラスチック協会が認証するバイオマスプラスチック製品の識別表示制度です。

■ ZMP World 2019 開催概要

ZMP World 2019 『R&D から量産化へ -ZMP が起こすロボリューション-』

開催日時：2019年7月23日（火）～26日（金） 10:00～18:00

会場：ベルサール飯田橋ファースト（東京都文京区後楽 2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー）

参加費：無料（懇親会は有料となります）

特設サイト：<https://www.zmp.co.jp/products/zmpworld2019>

■ バイオポリオール「エコニコール®」とは？



2013年に世界最大のひま栽培地であるインドに設立した Vithal Castor Polyols（所在地：インド・ムンバイ、資本構成：Jayant Agro Organics 社 50%、三井化学 SKC ポリウレタン 40%、伊藤製油 10%）にて製造する、食料問題と競合しない非可食のひまし油を原料としたバイオポリオールです。



<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (TEL: 03-6253-2100)

<エコニコール®に関するお問い合わせ>

三井化学 SKC ポリウレタン株式会社 (TEL: 03-6253-4120)